

平成 29 年 10 月 9 日（祝・月）に人間福祉学会を開催しました。

今年は就職して 1.2 年目の卒業生に来ていただき、仕事の葛藤ややりがい、ライフワークバランスなど、新人ならではの想いを語っていただきました。

児童福祉分野、障がい福祉分野、高齢者分野、医療福祉分野から 4 名に発表していただきました。

在学中に思っていたことや様々な価値観が混ざり、ジレンマを感じたり、専門職としての責任感から悩みながらもやりがいを見つけ、日々学びながら頑張る様子を発表から感じました。

分野が違って、根底にある「援助観」が共通していることに、人間福祉学科での学びの成果を感じました。

在学生にとっては、数年後の自分を想像し、専門職として働くイメージがより具体的になったり、今の内にしておくことなど再認識できたと思います。

中堅、ベテラン立場になっている卒業生は、初心を思い返すきっかけになり、今の自分をふりかえることができたと思います。

総評は北星学園大学教授の中村和彦先生にお願いしました。

中村和彦先生は、本学会の会員で、2004 年 3 月まで広島文教女子大学で教鞭をとっておられました。

人間福祉学会は、学びの場であり、同窓生とのつながりを持つ場でもあります。

来年度も在学生、卒業生にとって実りある学会を開催していきたいと考えています。

